

令和2年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校)

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校 |
|--------|--|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1 グローバルな視点で学びを支援し、自ら進路を切り拓く一女生を育成する。 2 部活動や学校行事などを通して、何事にも主体的に取り組む一女生を育成する。 3 外部連携を一層推進するとともに、一女の教育活動を積極的に発信する。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者 | 名 |
| | 生徒 | 名 |
| | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|-----------|-----|-------------|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (月 日 現 在) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | 県内トップレベルの学力の生徒たちに対し、計画的な進路ガイダンスをはじめ、志を育成する数々の試みを行い、成果を上げている。また、Google Classroomの有効活用等ICTを活用した授業にも取り組んでいる。 今年度は、新学力観に沿った評価方法の研究を進めていくことが求められている。また、SDGsを軸とした探究学習の在り方を検討しつつ、取組の進化を目指していくことも課題である。 | ①授業改善への取組に対する共通理解 ②全職員による組織的な進路指導 ③SDGsを軸とした探究学習に関する取組 | ①教務部を中心として、生徒の主体的な学びを支援する体制を整え、ICTを活用した授業実践に取り組む。 ②学年、教科、進路指導部が緊密な連携を図り、各進路行事の運営を柔軟に行う。また、生徒一人一人に主体性を促す指導を行い、進路希望の実現を果たす。 ③探究学習部を中心として、SSH・SGH事業の内容をさらに進化させる。 | ①・教科指導を含めた評価方法に関する研修会の実施状況 ・ICTを活用した授業実践の状況 ②・進路情報の提供に対する生徒、保護者の満足度 ・変則的な行事予定下での進路ガイダンス、個人面談等例年同程度の実施 ③・2学年の「総合的な探究の時間」の学習内容の見直し ・SSH・SGHプログラムの満足度 | | | |
| 2 | 生徒は部活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。一方で、悩みを抱える生徒もいるため、組織的な支援に取り組んでいる。 今年度は、特に変則的な行事予定が予測されるため、部活動や学校行事について臨機応変な対応が求められる。また、生徒のメンタルヘルスについては、家庭との連携を大切に、教育相談を充実させる必要がある。 | ①部活動や学校行事における柔軟な対応と支援 ②120周年記念事業を通じた教育の振り返り ③教育相談体制の充実 | ①生徒会部を中心として、部活動や各行事において生徒たちが主体的に活動できる環境づくりを行う。 ②100周年記念事業以降の教育を検証し、次の10年を見通す。 ③学年、生徒指導部、保健環境部、教育相談委員会、家庭の連携を一層充実させる。 | ①・部活動や各行事における生徒の満足度 ・各行事の実施状況 ②・記念誌の編纂等を通じた歩みの振り返りに基づく将来構想の検討状況 ③・スクールカウンセラーによる相談状況 ・支援を必要とする生徒の情報共有状況 | | | |
| 3 | 昨年度は、HPのリニューアルや学校説明会の内容改善等を進め、情報発信力を高めることができた。また、各種の学校や地域との連携さらに海外の学校等諸機関との交流を推進している。 今年度は、外部連携の在り方を見直しながら、その取組を一層推進することが求められる。また、公立女子高校の魅力積極的に発信していく必要がある。 | ①外部機関との連携 ②本校教育活動に関する情報発信の充実 | ①渉外部が中心となって、PTA・同窓会との連携を深めるとともに、学年、分掌、委員会が中心となって、様々な連携を充実させる。 ②諸行事の充実を図るとともに、教務部を中心として、全職員で情報発信を行っていく。 | ①・保護者アンケートにおける学校満足度 ・地域行事等への生徒の参加状況 ②・授業公開及び学校説明会の実施状況 ・HPのアクセス数年間10万件以上 ・志願者数の増加 | | | |

| 学 校 関 係 者 評 価 | |
|-------------------|----------|
| 実施日 | 令和 年 月 日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| | |